

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立笹島小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒450-0002
名古屋市中村区名駅四丁目19番1号

E-mail : sasashima-e@nagoya-c.ed.jp
 Website : www.sasashima-j.nagoya-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 64名 女子 71名 合計 135名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域学習・郷土学習)

4. 活動内容

(1) ねらい

「広げていこう 世界を見る目 笹島から～学ぶ力を身に付け、国際社会に生きる児童の育成～」のテーマのもと、「地域学習」「国際理解教育」の2つの視点でESDの推進につながる学習を抽出し、以下のねらいで実践に取り組んだ。

① 地域学習

1～5年生で地域の素材を生かした「ふれあい学習会」を行い、6年生で地域をテーマにした「課題追究学習」を行うことを通して、地域のよさを理解させ、地域や郷土を愛する心を育むようにする。

② 国際理解教育

ア 異文化理解学習の場の設定

海外生活の経験がある方から他国の生活習慣や文化の違いについて聞いたり、学区に隣接する「JICA中部（なごや地球ひろば）」の見学をきっかけに、世界の現状や開発途上国が抱えている問題について考えさせたりすることを通して、異文化を理解しようとする気持ちを高めるようにする。

イ 交流活動の充実

6年生では、地域学習で学んだことを、名古屋の大学に通う留学生との交流活動の中で発信する。互いの意見を交わし合い、双方向の交流を行うことで、多様な価値観をもった人々を受容し、共生する能力を高めるようにする。

(2) 本年度の主な取り組み

【実践例1】3年「山車について調べよう」（地域学習について）

本校は、校内に学区の下花車二福神車の山車を保存しており、保存会の方を招き、からくり人形や山車の構造などを学んでいる。その際に、郷土芸能の保存や継承に携わる中での喜びや苦労を聞かせてもらうことにより、200年以上引き継がれている山車や地域の祭りに込められた思いの深さを感じ取ったり、「もっと山車について知りたい」「地域のお祭りに参加してみたい」などと地域を愛する心を高めたりすることができた。さらに今年度は、この学習を広げ、九代玉屋庄兵衛氏の自宅兼工房を訪問し、各地の山車からくりの復元修復、創作からくりの製作について学ぶこともできた。

【実践例2】5・6年「世界の音楽めぐり」（国際理解教育について）

5・6年生では、メキシコ人マリンバチームを招き、メキシコの音楽を聴いたり、打楽器を使ったセッションを行ったりした。そして、この活動をきっかけに、他の国の音楽についても知りたいと関心を高め、いろいろな国の楽曲を練習し、文化祭で発表した。また、発表に向けて、各国の衣装やあいさつも調べ、演出に使うアイデアを出すこともできた。

【実践例3】6年「わたしのまちのたからものを伝え合おう」（国際理解教育について）

6年生では、地域学習や異文化理解の学習の経験を生かしながら、留学生と互いの郷土のよさを伝え合うプログラムを行った。1回目の交流会では、留学生を笹島小学校に招待し、校内を案内したり、母国

について紹介してもらったりした。また、児童からは、自分がテーマにして追究したい地域の題材を紹介し、留学生がどんなことに興味があるか聞き取りをした。さらに、2回目の交流会では、大学に出かけて行き、構内を案内していただいたり、お互いの小学校生活について紹介し合ったりして、友好を深めた。2回の交流会ともに、音楽を通してふれあう時間も設け、多くの児童が外国の人とふれあう楽しさを味わった。

(3) 実践の成果

文化祭では、これまでの学習の成果を発表した。山車やからくり、名古屋城の修復などを劇にまとめ表現したり、世界の音楽を笹島流のメドレーにして発表したり、これからも大切にしていきたいものを伝えたりする児童の姿は自信に満ちあふれ、育てたい資質が身に付きつつあることが感じられた。行った保護者アンケートでも「児童の発表の様子」「これまでの学習内容を生かした発表内容」について、「とてもよかった」「よかった」の合計が100%、97%という高い評価を受けることができた。

5. 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()